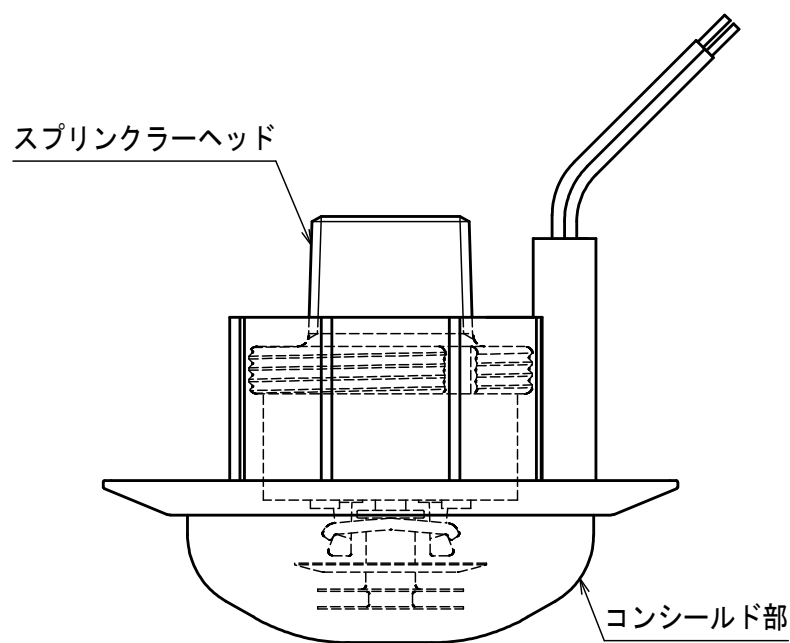


MHSJ009-72-CP型
コンシールドヘッド
(水道連結型ヘッド)
ガイドブック



(コンシールドヘッドはコンシールド部とスプリンクラーヘッドで構成されています。詳細は7ページ参照)

注意：本書は、湿式の特定施設水道連結型スプリンクラー設備で使用することを前提に説明しています。乾式の特定施設水道連結型スプリンクラー設備でコンシールドヘッドを使用する場合には、乾式用の施工要領書、設計要領書、試験点検要領書などを参照してください。

NOHMI




いつでも使用できるように大切に保管してください。

1. 安全上の注意




■安全にご使用いただくために

- ご使用の前に、注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は設備を正しく施工するためのもので、関係者への危害や損害を未然に防止することを目的としています。
- 危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。
 - 「警告」：内容を守らなかった時に、関係者が死亡または重傷を負うかまたは防災機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合
 - 「注意」：内容を守らなかった時に、関係者が重傷や障害を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合または防災機能の一部に悪影響を及ぼすことが想定される場合

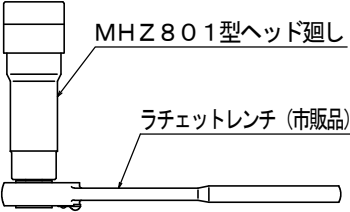
絵表示の見方




-  左の記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
-  左の記号は禁止の行為を告げるものです。
-  左の記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

お客様への注意事項




 警告	コンシールドヘッドに物をぶつかけたり、ぶら下げたりしないでください。万が一、外力が加わった場合には、コンシールドヘッド全体（コンシールド部とスプリンクラーヘッド）を交換してください。コンシールドヘッドの内部部品が変形し、火災時に作動しない、漏れが発生するなど、機能に影響する場合があります。コンシールドヘッドに変形が見られる場合には、コンシールドヘッド全体を新しいものに交換してください。
	コンシールドヘッドを塗装しないでください。 火災時に感知が遅れたり、コンシールドヘッドが作動しないなど、機能に影響する場合があります。塗装した場合は、コンシールドヘッド全体を新しいものに交換してください。
	コンシールドヘッドの直近で白熱球を使用したり、直下で石油ストーブを使用するなど、コンシールドヘッドに熱が加わらないように注意してください。 火災時以外でコンシールドヘッドが作動する場合があります。
	コンシールドヘッドの近くに、エアコンなどの空調を設置しないでください。 温風の場合は火災時以外でコンシールドヘッドが作動する、冷風の場合は火災時に感知が遅れる場合があります。
 注意	公設水道を用いる場合で、断水時、または、供給水圧が低下した時には、正常な散水が得られません。
 注意	コンシールドヘッドの交換は専門業者に依頼してください。
	部屋の間仕切りを変更したり増改築する場合には、事前に専門業者にご相談ください。
	コンシールドヘッドに錆や油などの付着物が見られる場合には、コンシールドヘッド全体を新しいものに交換してください。
	収納庫などに設置したコンシールドヘッドで外力が加わる可能性がある場合には、MZHJ004-P型コンシールドヘッド用保護カバーを使用することをお勧めします。 ただし、保護カバーが破損するほどの外力が加わった場合にはコンシールドヘッド全体を新しいものに交換してください。

施工業者様への注意事項

<p>⊘ 警告</p>	<p>落下したり衝撃を与えたコンシールドヘッドは使用しないでください。 コンシールドヘッドの内部部品が変形し、火災時に作動しない、漏れが発生するなど、機能に影響する場合があります。</p>
	<p>梱包箱内の注意事項に貼付してある温度ラベルが黒色に変わった場合、中のコンシールドヘッドが熱で劣化している可能性がありますので使用しないでください。 (コンシールドヘッドの梱包箱を開封した時、箱内側の温度ラベルが黒色に変わっていないことを確認してください。運搬・保管時に箱内の温度が50℃以上になると温度ラベルが灰色から黒色に変わります。)</p>
	<p>コンシールドヘッドを塗装しないでください。 火災時に感知が遅れたり、コンシールドヘッドが作動しないなど、機能に影響する場合があります。塗装した場合は、コンシールドヘッド全体を新しいものに交換してください。</p>
	<p>コンシールドヘッドの設置周囲温度は39℃未満とすることが消防法で定められています。保管および輸送時も同様に、周囲温度が高温にならないように、空調が効いている倉庫に保管する、夏場の車内に長時間放置しないなどの注意をしてください。工事中においてもコンシールドヘッドは車中などの高温の場所や直射日光が当たる場所、腐食性ガスや湿気のある所には置かないでください。 感熱部が高温にさらされたり、コンシールドヘッドが腐食するとコンシールドヘッドが作動・分解したり、設置後も火災以外で作動してしまう場合があります。</p>
	<p>一度設置したコンシールドヘッドは再使用しないでください。 作動しない、漏れが発生するなど、機能に影響する場合があります。</p>
	<p>エアコンなどの空調や換気扇の近くにコンシールドヘッドを設置しないでください。 エアコンの温風で火災時以外でコンシールドヘッドが作動したり、冷風で火災の感知が遅れたり、換気扇作動時には火災の熱が逃げ感知が遅れるなど、機能に影響する場合があります。</p>
<p>⚠ 警告</p>	<p>配管内の異物を取り除いてからスプリンクラーヘッドを取り付けてください。 異物がスプリンクラーヘッドの散水口やデフレクターに引っ掛かり、正常に散水されなくなります。</p>
	<p>コンシールド部を取り付ける時は、スプリンクラーヘッドに付いている保護キャップ（白色）を取外してください。（図8参照） 保護キャップを外さないと火災時にスプリンクラーヘッドが作動しません。</p>
	<p>スプリンクラーヘッドの取り付けは、専用のMHZ801型ヘッド廻しを使用してください。 専用工具を使用しない場合、取り付け時に工具がスプリンクラーヘッドに無理な力を加え、内部部品が変形し火災の時に作動しない、漏れが発生するなど、機能に影響することがあります。</p>
	 <p style="text-align: center;">MHZ801型ヘッド廻し ラチェットレンチ (市販品)</p>
	<p style="text-align: center;">図1. 専用工具</p>
	<p>スプリンクラーヘッドの天井面からの出面について、天井面が保護キャップに表示した「天井仕上げ面範囲」に入るようにしてください。（10ページ参照） 範囲を外れた場合には、火災時に作動しない、火災感知遅れが生じるなどの原因となります。</p>
	<p>スプリンクラーヘッド取り付け時のねじシールとしてシールテープを使用してください。 ヘルメシールなどペースト状のシール材は使用しないでください。 シール材がスプリンクラーヘッド内に垂れ落ちてスプリンクラーヘッドの作動に悪影響を与える場合があります。</p>
	<p>樹脂配管等の施工時に接着剤を使用する場合は、接着剤がスプリンクラーヘッド内に垂れ落ちない様にしてください。 接着剤がスプリンクラーヘッド内に垂れ落ちると、スプリンクラーヘッドの作動・放水に悪影響を与える場合があります。</p>
<p>天井板を張る時に、天井板をスプリンクラーヘッドにぶつけないように天井板設置者に指示してください。 ぶつけた衝撃でスプリンクラーヘッドの内部部品が変形し、火災の時に作動しない、漏れが発生するなど、機能に影響する場合があります。（図8の保護キャップは外力からスプリンクラーヘッドを保護するものではなく、工事中の埃などの環境の影響を予防するものです。）</p>	

 注意	<p>コンシールド部を取り外す場合には、塗装してあるカバーをねじる、引っ張るなどの力を加えないでください。 平常時の火災以外でコンシールド部が作動してしまう場合があります。コンシールド部の取り外し方については、図9を参照してください。</p> <p>収納庫などに設置したコンシールドヘッドは、外力から保護するためのMZHJ004-P型コンシールドヘッド用保護カバーを使用することをお勧めします。また、保護カバーを取り付けたスプリンクラーヘッドは45度以上傾けて設置しないでください。</p>
 注意	<p>スプリンクラーヘッドを取り付けた後、配管を叩くなど、配管に衝撃を与えないでください。間接的な衝撃がスプリンクラーヘッドに加わり、内部部品が変形し、火災の時に作動しない、漏れが発生するなど、機能に影響する場合があります。</p> <p>スプリンクラー配管工事は各水道事業者などが示す施工基準に従い、消防法令上の有資格者（消防設備士）の指導のもと、指定給水装置工事事業者が行ってください。</p> <p>特定施設水道連結型スプリンクラー設備として設置した場合には、法令に基づく試験を実施してください。また、自主設置の物件においても同様の試験を実施することを推奨します。</p> <p>硬質塩化ビニルライニング鋼管を使用する場合は錆発生防止のため「管端防食継手」を使用してください。また、スプリンクラーヘッドを取り付ける部分は片コアの「水栓継手」を使用してください。</p> <p>硬質塩化ビニル管を使用する際、スプリンクラーヘッドとの接続部分は必ずインサート付き継手を使用してください。</p> <p>配管内の水の凍結や結露を防止するために、保温工事してください。 凍結した場合、スプリンクラーヘッドが破損し漏水するおそれがあります。</p> <p>防火区画を樹脂配管が貫通する場合、貫通部の前後1mを鋼管とするなど、建築基準法に定める貫通方法による必要があります。</p> <p>天井面に散水障害となる部分がある場合には、散水障害にならないようにスプリンクラーヘッドを設置してください。</p> <p>天井板を張る時のコンシールドヘッドの取付け穴は「φ55～φ60」としてください。 取付け穴が大きい場合にはコンシールドヘッドの外周に隙間が見え、小さい場合にはコンシールド部を取り付け難くなります</p> <p>スプリンクラーヘッドの取付けは、$30\text{N}\cdot\text{m}$($300\text{kg}\cdot\text{cm}$)程度のトルクで締め付けてください。 締めすぎると、スプリンクラーヘッドを取り外せなくなったり、内部部品が変形し火災の時に作動しない、漏れが発生するなど、機能に影響する場合があります。</p> <p>コンシールド部を取り付ける時は、「手のひら」でコンシールド部全体を持ち、下からゆっくり押し込んでください。(図8参照) 塗装してあるカバーを部分的に押すと変形します。</p>
 注意	<p>コンシールド部のリード線と信号線は太さが異なるため、圧着が不完全であると設置後にリード線が抜けたり、接触不良になる可能性があります。圧着した後にリード線および信号線を引っ張るなどして確実に結線されていることを確認してください。(詳細は12ページ参照)</p>

設計者様への注意事項

 警告	<p>本設備に使用する水は上水とし、個人で汲み上げている地下水などの腐食性のある水は使用しないでください。 スプリンクラーヘッドのシール部分が腐食し、漏れの原因になります。</p>
 注意	<p>設置する場所の最高温度が39℃以上となる場合にはコンシールドヘッドを設置しないでください。 MHSJ009-104-P型閉鎖型スプリンクラーヘッドを設置してください。</p>
 注意	<p>専用の消火ポンプを用いないで、直接、上水を用いる場合にはスプリンクラー配管の水を停滞させない注意が必要です。スプリンクラー配管は行き止まり配管にせず、末端には給水栓を接続し、コンシールドヘッドの接続継手には MCJ020 型停滞水防止継手を使用してください。停滞水防止継手を使用することを必須としている水道事業者があります。</p> <p>停滞水防止継手を使用しない場合には、水道事業体に確認してください。</p> <p>停滞水防止継手は（社）日本水道協会の認証登録品ですが、飲用に使用しない※1ものとして認証を取得しています。よって、停滞水防止継手を使用する場合には、末端をトイレなどの飲用に使用しない給水栓に接続してください。洗面所などの飲用に使用する給水栓に接続する場合には、日水協の浸出性能に適合している継手を用いてスプリンクラーヘッドを取り付けてください。なお、コンシールドヘッドは浸出性能に適合しています。 ※1 日水協の浸出性能に適合していないため、飲用に使用できません。</p> <p>コンシールドヘッドの防護範囲は水平距離 2.6m 以下としてください。</p> <p>同一室内に2個以上のコンシールドヘッドを配置する場合は、ヘッドからの放水が他のヘッドを濡らさないように、<u>コンシールドヘッド相互間の距離が1.8m以上</u>となるように配置してください。なお、ヘッドとヘッドの間に照明器具などが設けられ、他のコンシールドヘッドからの放水を受ける可能性のない場合は、1.8m未満とすることができます。</p> <p>コンシールドヘッドは、ふすま、カーテンなどの壁面の可燃物も警戒するため、天井面より0.5m以下の壁面まで有効に防護する必要があります。部屋の中央に照明器具などがある場合は、壁面警戒の散水障害となる可能性が高いため、<u>設計では照明器具の両側にコンシールドヘッドを配置</u>してください。</p> <p>消防法で定める特定施設水道連結型スプリンクラー設備に使用する場合は、建物の内装仕上げに応じて、コンシールドヘッドの放水量が異なります。内装仕上げが火災予防上支障のない場合には放水圧力を 0.025MPa（15L/min 放水）で、内装仕上げが火災予防上支障のある場合※2には、放水圧力を 0.1MPa（30L/min 放水）で、必要給水圧力を計算する必要があります。 ※2 「火災予防上支障がある場合」とは、内装仕上げが準不燃材料、および、不燃材料以外である場合をいう。</p>

2. はじめに

MHSJ009-72-CP型コンシールドヘッドは、有効散水半径が2.6m、下向きの水道連結型スプリンクラーヘッドで消防法の規定に基づく総務省令「閉鎖型スプリンクラーヘッドの技術上の規格を定める省令」による型式試験に合格した製品です。法令で定められている特定施設水道連結型スプリンクラー設備に設置できる他、自主設置の福祉施設、および、一般の住宅などにも設置できます。また、日本水道協会の認証を取得しているため、消火ポンプを用いず、直接、水道配管に接続して使用することができます。

法令で定められている特定施設水道連結型スプリンクラー設備に使用する場合には、所轄消防機関ならびに水道事業体の指導内容に従って設置し、定期的に法定点検を実施してください。また、自主設置物件に設置する場合においても、法令に準じて設置し定期点検することを推奨します。

コンシールドヘッドはコンシールド部が作動したことを検知することができるため、コンシールド部の信号線を警報ブザーなどへ接続することで、火災時に警報を鳴動させることができます。

3. システム例

コンシールドヘッドを用いた湿式の特定施設水道連結型スプリンクラー設備のシステム例を示します。

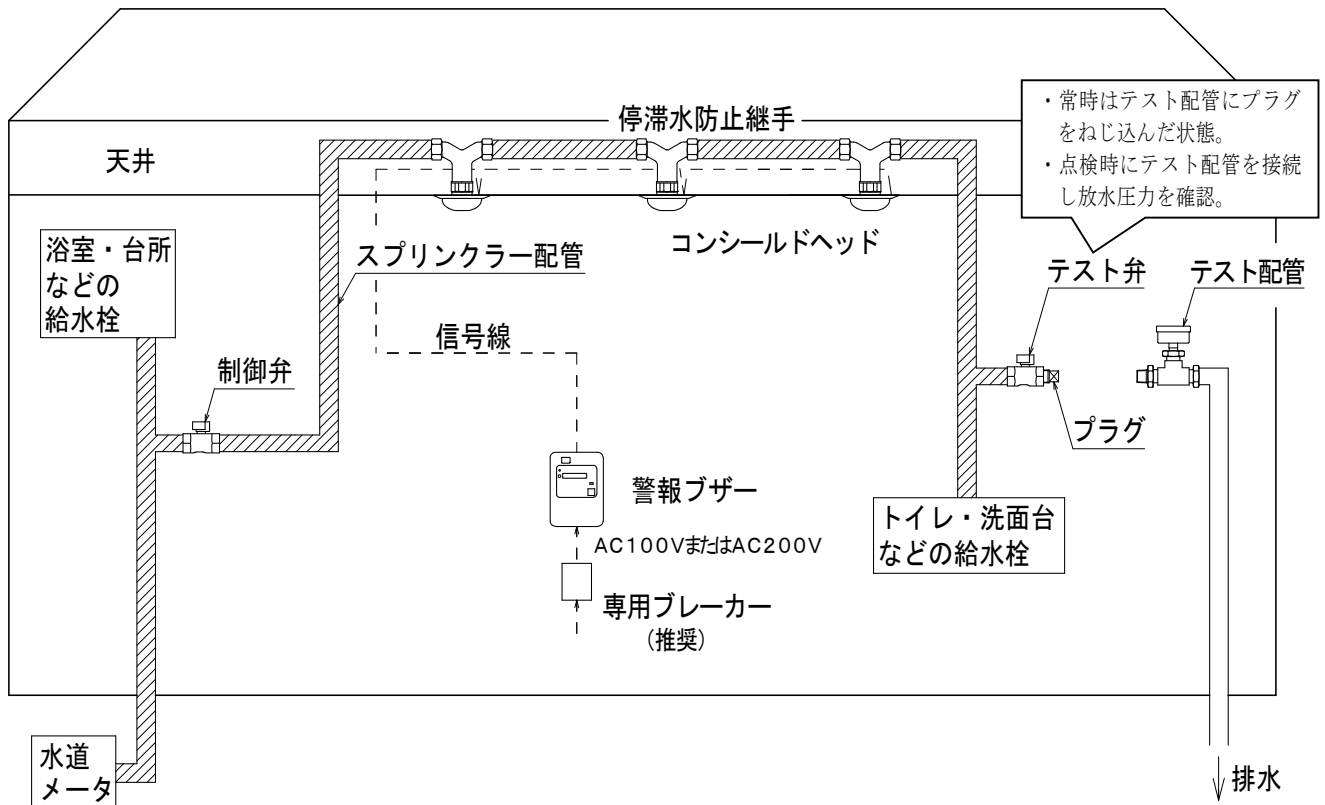


図2. システム例

4. 機器説明

1. 機器構成

- ・コンシールドヘッドは、コンシールド部とスプリンクラーヘッドで構成され、スプリンクラーヘッドにコンシールド部をかぶせて使用します。
- ・コンシールド部の作動を検出して、火災信号を発信することができます。

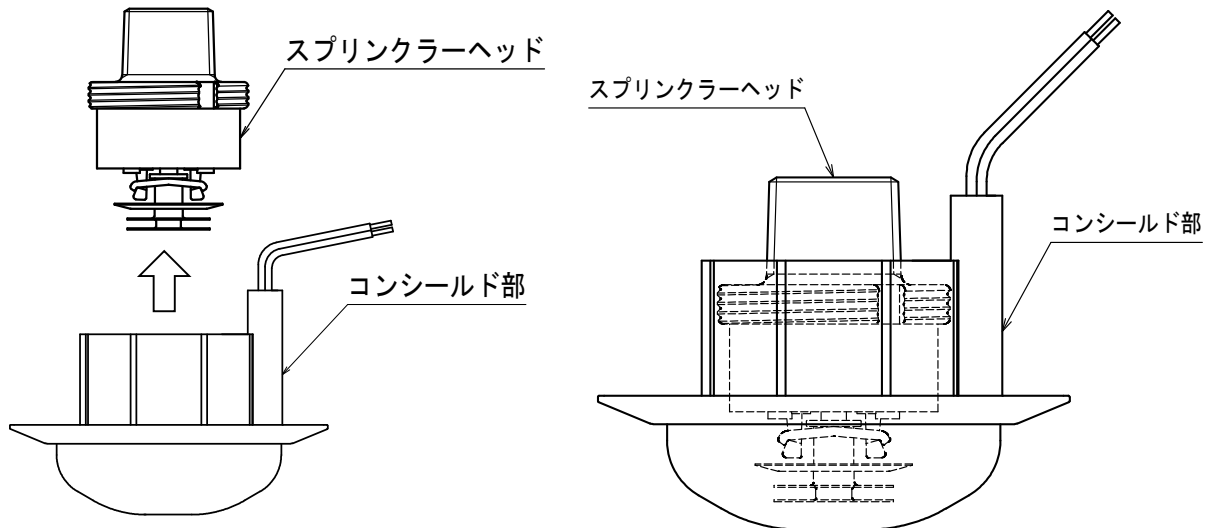
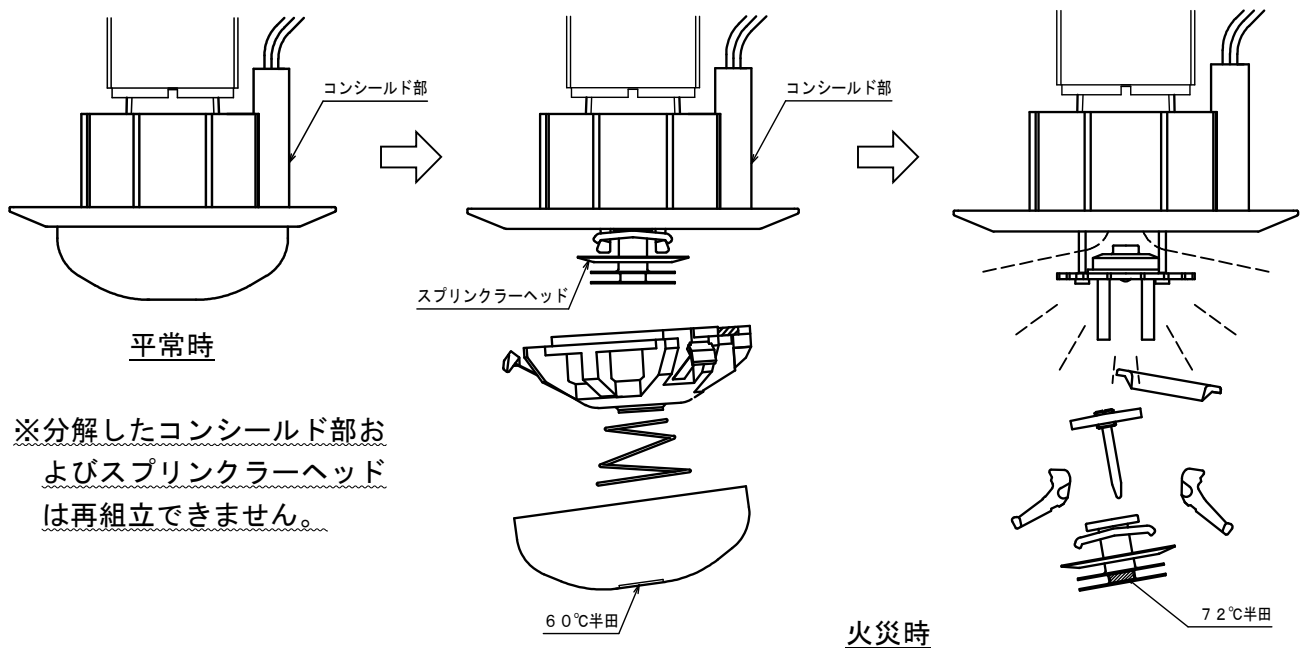


図3. コンシールドヘッド

2. 作動原理



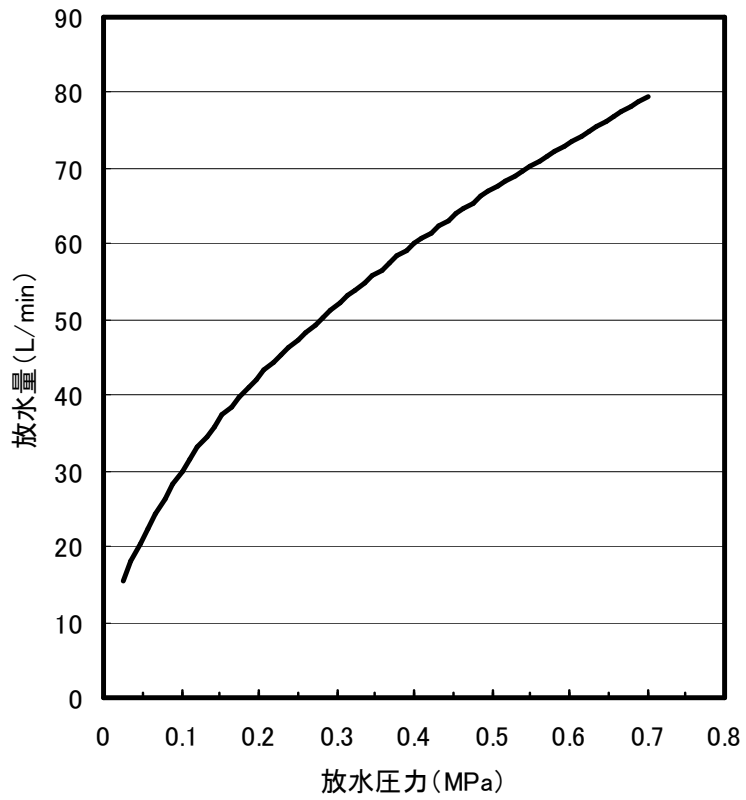
①火災時の熱気流により、コンシールド部の半田（60℃）が溶けて、コンシールド部が作動する。この時、内部の接点が閉じて火災信号を発信する。

②更に、火災の熱気流により、中のスプリンクラーヘッドが熱せられ、スプリンクラーヘッドの半田（72℃）が溶けて、スプリンクラーヘッドが作動し散水を開始する。

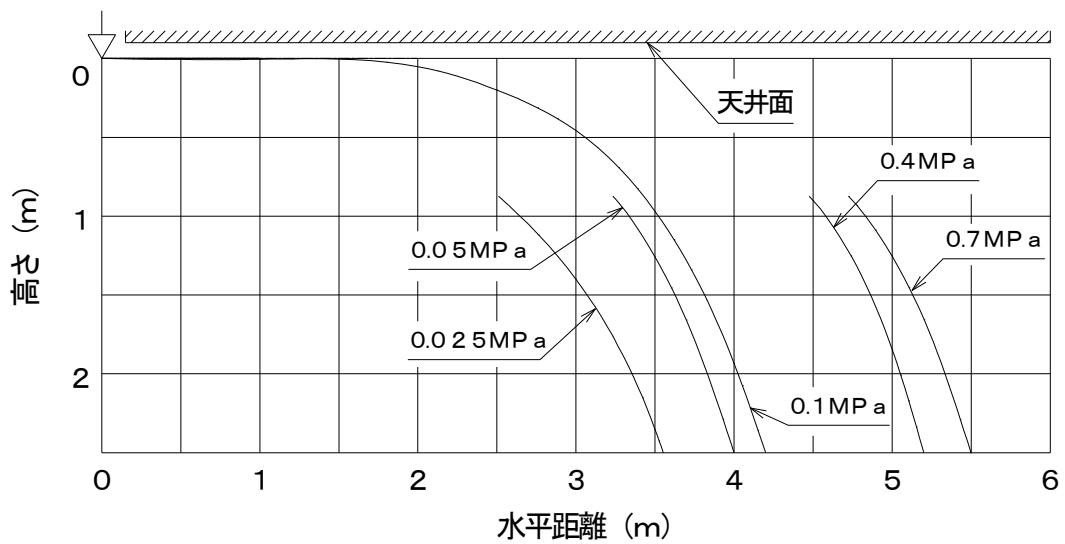
図4. 作動原理図

3. 特性

(1) 放水压力—流量特性



(2) 散水形状



5. 配管工事

1. スプリンクラー配管、継手の選定

スプリンクラー配管に使用するものは、管材ごとに使用条件が異なります。以下の内容で施工してください。

使用配管およびその継手	使用条件
硬質塩化ビニル管 耐衝撃硬質塩化ビニル管 耐熱性硬質塩化ビニル管 水道用架橋ポリエチレン管 水道用ポリブデン管	火災時の熱の影響を受けないように難燃材料で仕上げた天井や壁面の裏に隠蔽する必要があります。露出する場合には厚さ50mm以上のロックウールで耐熱処理してください。
塩ビライニング鋼管	隠蔽、露出共に使用可能です。
ポリエチレン粉体ライニング鋼管	露出で使用する場合でも耐熱処理は必要ありません。
巻出しフレキ管	水道用の認証を取得しているものを使用してください。

2. MCJ020型停滞水防止継手の取り付け

作業① 天井材に固定する前にMHZ801型ヘッド廻しを用いて、ロックナットを緩めてください。

作業② MHZ802型ヘッド廻しを用いて、アジャスターを廻して出っ張りを15mm程度に調整してください。(ストローク30mmの中間位置に調整)

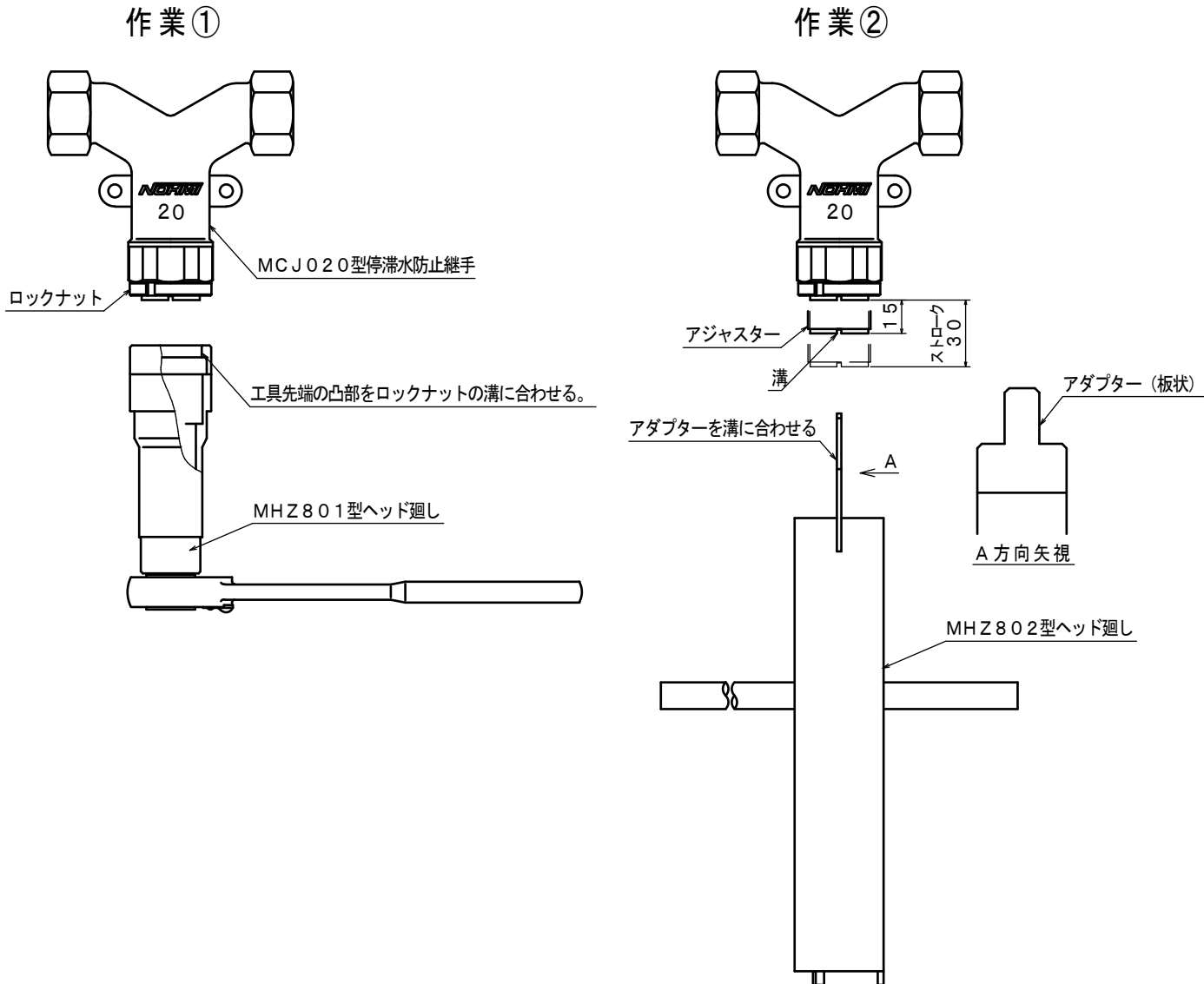


図5. 停滞水防止継手のアジャスター長さ調整(その1)

- 作業③ 停滞水防止継手の固定穴を用いてM3.5の木ネジなどで天井材に固定してください。また、アジャスター下端と天井仕上げ面の距離が $21 \pm 10\text{mm}$ になるようにしてください。
- 作業④ MHZ802型ヘッド廻しを用いて、アジャスター下端と天井仕上げ面の距離が $21 \pm 3\text{mm}$ になる様に調整してください。
- 作業⑤ MHZ801型ヘッド廻しを用いてロックナットを締め付け、アジャスターが廻らないようにしてください。
- 注意：ロックナットの締め付けが緩い場合、スプリンクラーヘッドを取り付ける際にアジャスターが廻ってしまい適切にスプリンクラーヘッドを締め付けられない可能性があります。

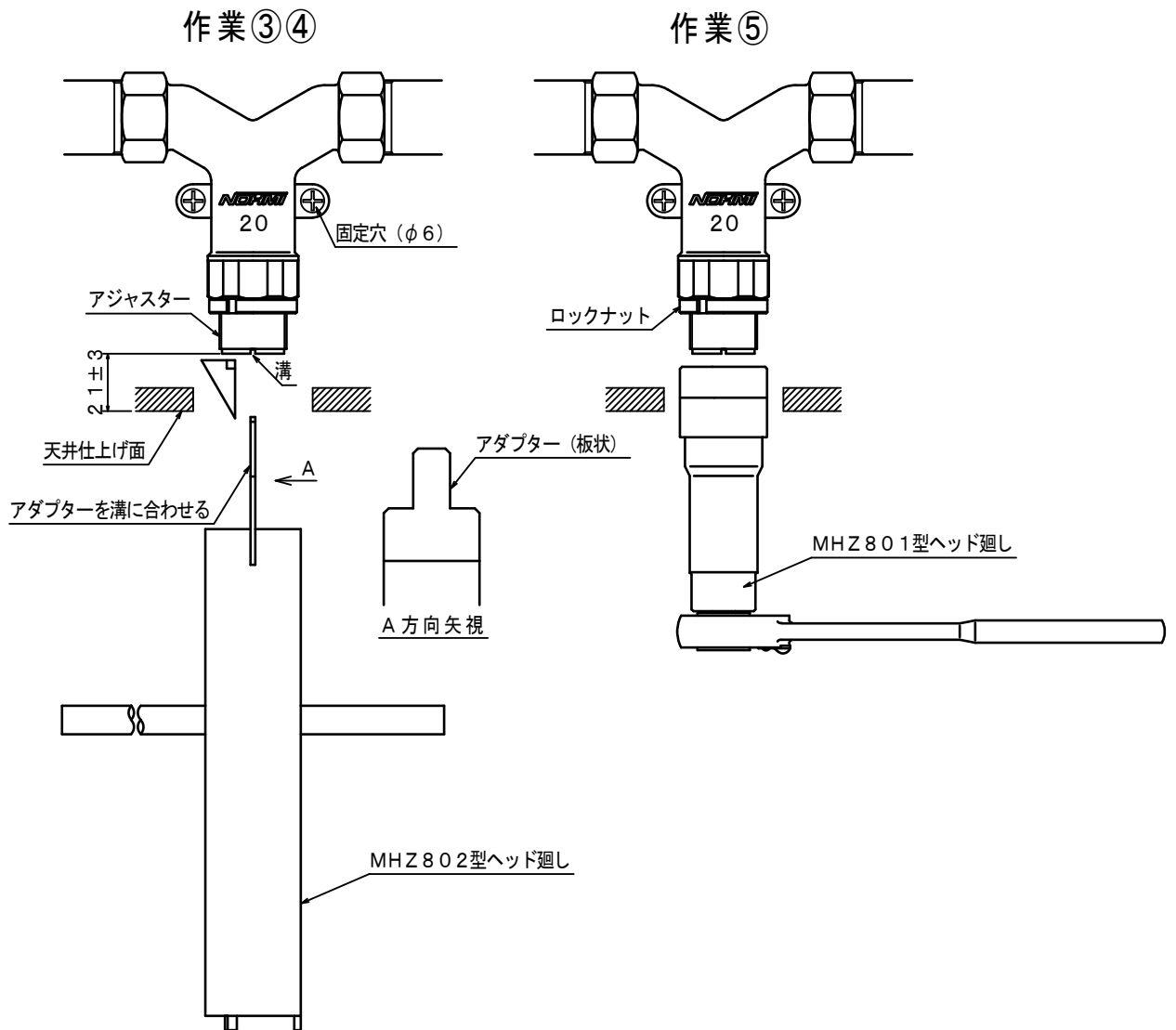



図6. 停滞水防止継手のアジャスター長さ調整 (その2)

 注意	天井面とスプリンクラーヘッドが垂直になるように、停滞水防止継手の垂直度を確認した上で固定してください。
	停滞水防止継手を使用しない場合、ソケットなどの継手（下端）と天井仕上げ面との寸法は $21 \pm 3(\text{mm})$ ではなく、 $23 \pm 3(\text{mm})$ としてください。

3. スプリンクラーヘッドの取り付け

- ・スプリンクラーヘッドを取り付けた時に天井面が天井仕上げ面範囲に入っていることを確認してください。(天井仕上げ面範囲は下図のようにスプリンクラーヘッドの保護キャップ外周面に示されています。)
- ・スプリンクラーヘッドを取り付ける時にはネジ部にシールテープを巻き、MHZ801型ヘッド廻しを使用してください。

締め付けトルクは**30N・m(約300kg・cm)**以下：トルク30 N・m(300kg・cm)のおおよその力は約250mmのラチェットレンチを使用した時にハンドルに加える力は約15kgf

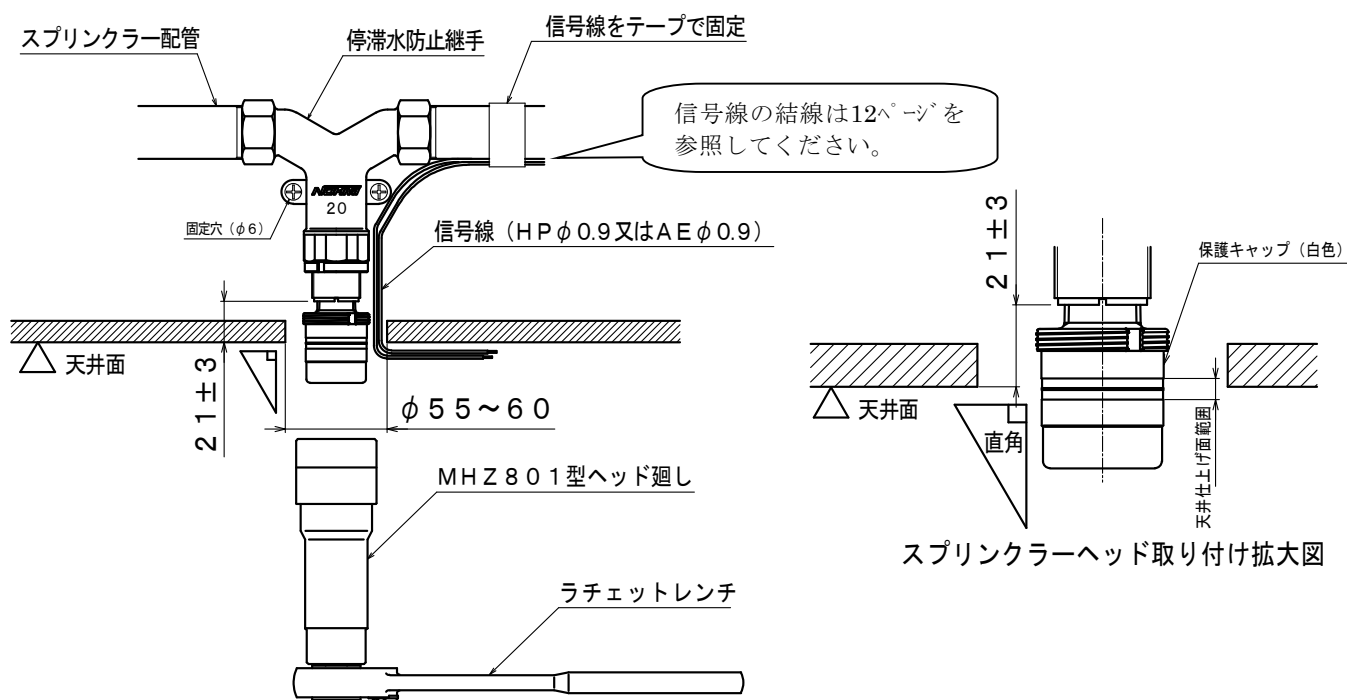


図7. スプリンクラーヘッドの取り付け

4. 天井板の張り付け

- ・スプリンクラーヘッドの中心に合致する穴を開けた天井板を張ります。(建築工事)
- ・天井板に開ける取り付け穴寸法はφ55~φ60としてください。
⇒穴をφ60より大きく開けた場合には、穴がシーリングプレートで隠せなくなります。
⇒穴をφ55未満で開けた場合には、コンシールド部が取り付け難しくなります。
各寸法の詳細は添付の資料1を参照してください。

5. 耐圧試験

水道事業者の規定に基づく水圧、時間で配管およびスプリンクラーヘッド接続部から水漏れがない事を確認してください。

6. コンシールド部の取り付け

- コンシールド部のリード線と信号線を圧着端子で結線します。
コンシールド部のリード線と信号線は太さが異なるため、圧着が不完全になり易く設置後にリード線が抜ける可能性があります。信号線の圧着については12ページを参照してください。
- スプリンクラーヘッドに付いている保護キャップ（白色）を外し、手のひらでコンシールド部の全体を持ってコンシールド部が止まるまで下方から押し込んでください。（コンシールド部の塗装してあるお椀形の部分は、指先で押すと変形します。お椀形の部分が変形すると火災時の作動などに支障をきたす場合があります。）

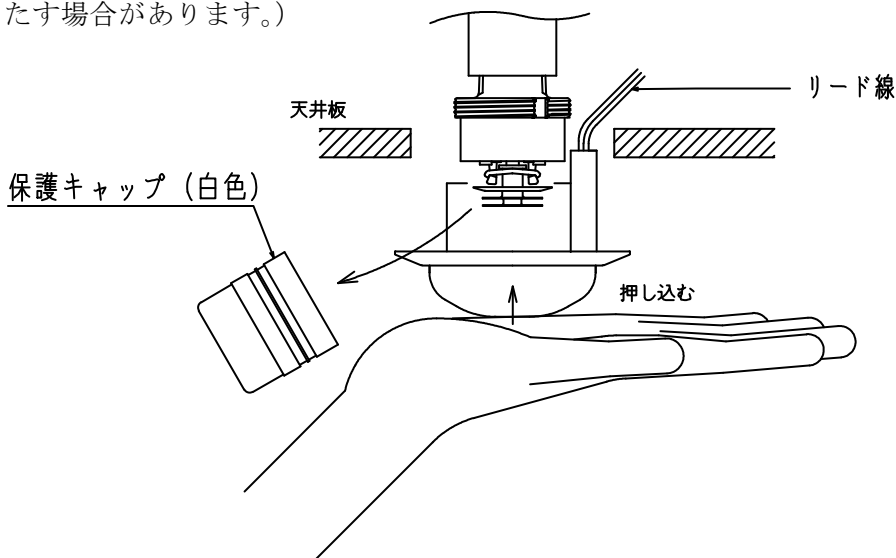


図8. コンシールド部の取り付け

7. コンシールド部の取り外し

- ① 下図に示すようにシーリングプレートの外周部に平板などを差し込み、平板を下に押し下げることでシーリングプレートを天井面から浮かせます。
- ② 浮かせたシーリングプレートを手で持ち、コンシールド部ごと、下へゆっくりと引き抜いてください。

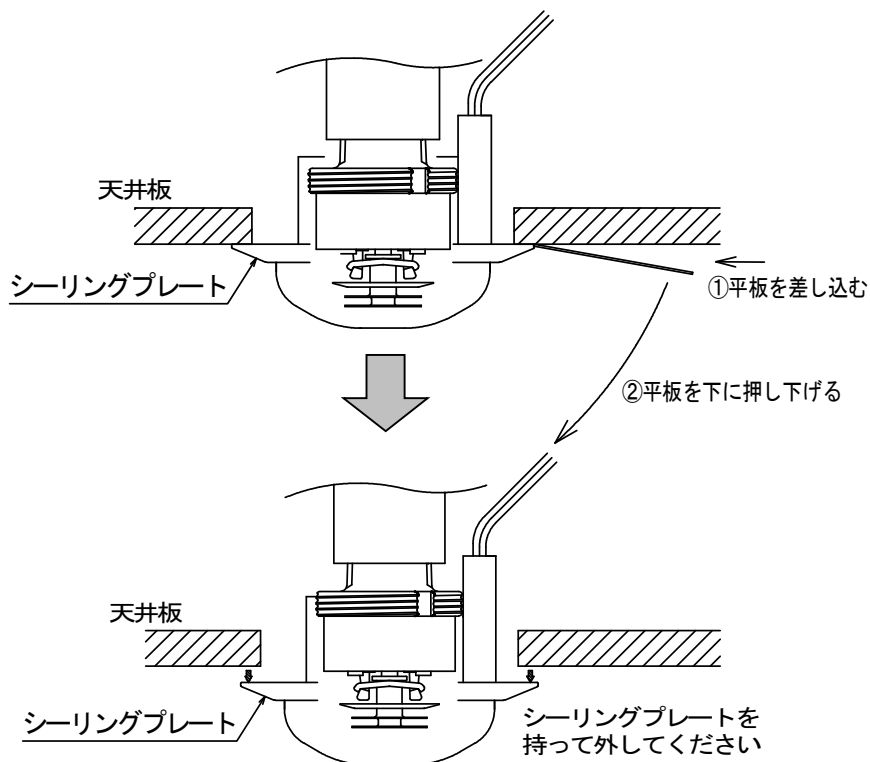


図9. コンシールド部の取り外し

8. 保護カバーの取り付け

収納庫などでの物の出し入れ時にコンシールドヘッドに物が当たる可能性がある場合には、MZHJ004-P型コンシールドヘッド用保護カバーを取り付けてください。取付方法などについては、保護カバーに同梱されている取扱説明書および施工要領書を参照してください。

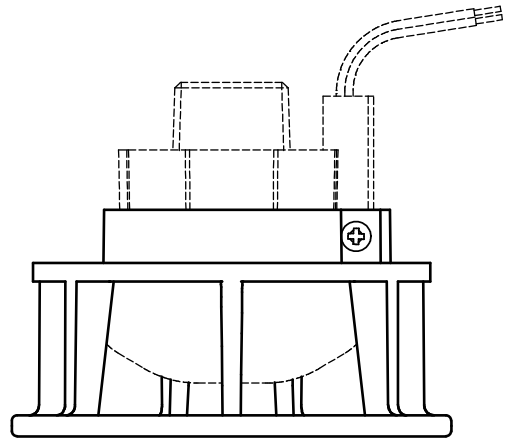


図 10. MZHJ004-P型コンシールドヘッド用保護カバー

6. 結線

コンシールド部の作動信号で警報ブザーを鳴動させる場合には下記参考に結線してください。

1. 信号線の仕様

信号線は耐熱電線HPφ0.9、または、AEφ0.9を推奨します。

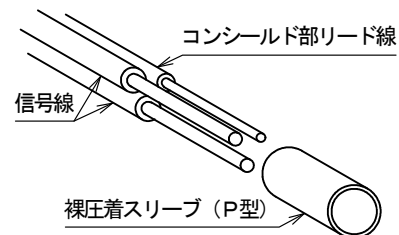
2. 信号線の圧着

①信号線の太さや組合せに合うように圧着端子を選択してください。

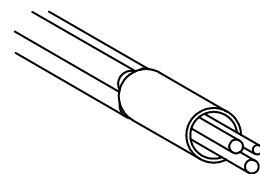
以下の裸圧着スリーブ（P形）の使用をお奨めします。圧着した後は、信号線とリード線を引っ張るなど、確実に結線されていることを確認してください。

結線部	圧着場所（図12参照）	裸圧着スリーブ(例)	信号線の太さ
A	コンシールド部のリード線と信号線	NICHIFU：P2	リード線：0.2mm ² (AWG24) 信号線：HPφ0.9、または、AEφ0.9
B	最末端のコンシールド部のリード線と信号線	NICHIFU：P1.25	リード線：0.2mm ² (AWG24) 信号線：HPφ0.9、または、AEφ0.9

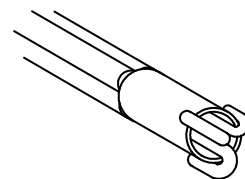
②絶縁被覆は裸圧着スリーブより長く、信号線とリード線の長さが揃うように剥いてください。



③信号線とリード線の末端がスリーブからはみ出すように奥まで差し込み、専用の圧着工具で圧着してください。絶縁被覆部分が圧着スリーブ内に入らないように注意してください。



④はみ出した信号線とリード線を折り返してください。



⑤テーピングした後、各信号線とリード線を引っ張り、抜けないことを確認してください。

図 11. 結線方法

3. 警報ブザー（ARM 1N）とコンシールド部の接続

- ・コンシールド部の配線は図 1 2 の様な送り配線としてください。
（コンシールド部のリード線は無極性）
- ・警報ブザー接続時はケーブル先端の被覆を5~8mm程度剥き、警報ブザーの端子台（端子記号：1、C）のねじにより挟み込んでください。
- ・警報ブザーの取り扱いについては、同梱の取扱説明書を参照してください。

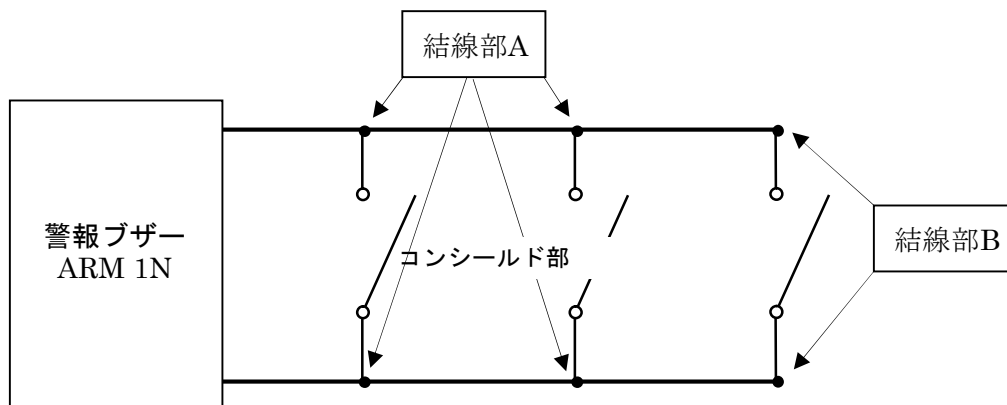


図 1 2. コンシールド部配線図

7. 接点の動作確認

コンシールドヘッド設置後、点検用磁石を下図の位置に近づけて、コンシールド部の接点が閉じることを確認してください。

ここでは、警報ブザー（ARM 1N）に直接接続した場合の例で説明します。

- ①コンシールドヘッドの▽印に付属の点検用磁石（白色塗装部分）を近づけます。
 - ・点検磁石は警報ブザーの梱包箱に同梱されています。
 - ・点検用磁石を棒の先端にテープなどで固定しておくと便利です。

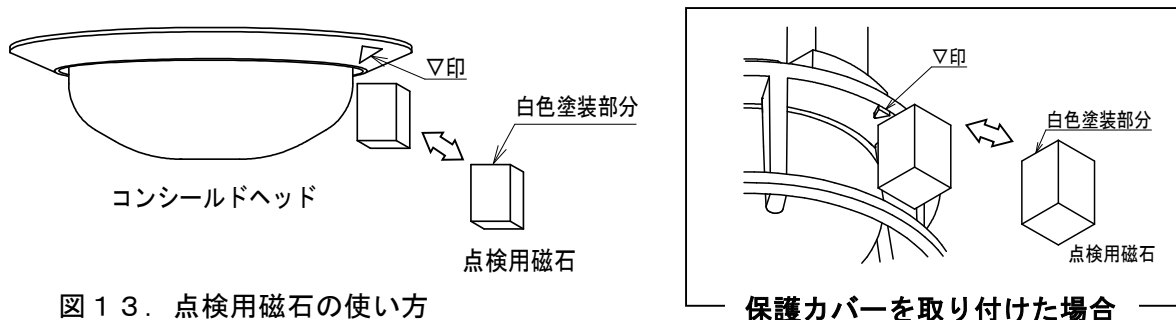


図 1 3. 点検用磁石の使い方


- ②点検磁石を近づけると警報ブザーが鳴動し、離すと警報ブザーの鳴動が停止します。



全てのコンシールドヘッドで接点が閉じることを確認してください

8. 法定点検

特定施設水道連結型スプリンクラー設備に使用した場合には、関連法規に従った保守点検が必要です。なお、自主設置の場合にも定期的なコンシールドヘッドの点検（外観点検、接点の動作確認など）を実施してください。

 警告	<p>外観点検を定期的実施し、コンシールドヘッドに変形、漏れ、腐食などの異常が見られる場合には、新品のコンシールドヘッドと交換してください。特に、環境が悪い場所（腐食性ガス、高温、多湿など）に設置する場合には注意してください。</p>
--	---

放水圧力の測定は下記のMZVJ001型テスト配管を用いて確認してください。

放水圧力の測定方法

- ①テスト弁のプラグを取り外しテスト配管とホースを取り付けます。（図2参照）
 接続するホースは折れ曲がらない様に設置してください。
- ②テスト弁を開放しテスト配管の圧力計の値を測定する。
- ③測定した圧力が規定値以上であることを確認する。

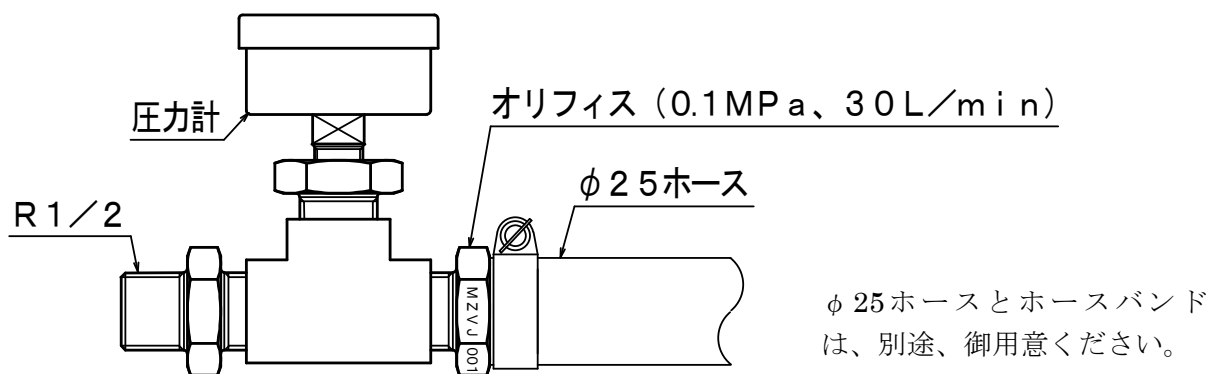




図14. テスト配管（型名：MZVJ001）

9. 耐用年数

コンシールドヘッドの耐用年数は以下のとおりです。

設置場所	耐用年数
居室など環境がよい場所（温度や湿度が安定していて、腐食性ガスがないなど）	20年
環境が悪い場所（高温、多湿、腐食性ガスなど）	10年

 警告	<p>耐用年数は、設置環境、使用状況などの影響を受けるため、一概に述べることはできませんが、上表を目安に新品に交換することを推奨します。交換を行わないと、経年劣化により所定の性能が得られないなどの可能性があります。</p>
 注意	<p>耐用年数は、この間の機能・性能を保証するものではありません。</p>

10. 仕様

型式名称	MHSJ009-72-CP	
国検型式番号	ス第21～34号	
日本水道協会認証登録番号	Z-202	
標示温度	72°C	
作動温度	コンシールド部：60°C スプリンクラーヘッド：72°C	
最高周囲温度	39°C未満	
標示温度区分色別	無	
種別	水道連結型	
感度種別	1種	
標準圧力	0.1 MPa	0.025 MPa
標準流量	30 L/min	15 L/min
有効散水半径	2.6m（防護面積13m ² 以下）	
耐圧試験圧力	2.5 MPa	
取付区分	下向き	
取付ねじ	R1/2	
コンシールド部落下検出	近接スイッチ（ノーマルオープン）、接点容量：DC10W	
色	ライトグレー	
質量	約163g	
関連部品	保護キャップ	硬質ポリエチレン樹脂：白色
	保護カバー	PBT系樹脂、ライトグレー、型式名称：MZHJ004-P型
	ヘッド廻し	型式名称：MHZ801型、MHZ802型
	停滞水防止継手	型式名称：MCJ020型 日本水道協会認証登録番号：G-84
	テスト配管	型式名称：MZVJ001型

保 証 書

発行N o. _____
年 月

_____ 殿

この度は、当社製品をご採用いただきましてありがとうございます。

本保証書は対象機器について、保証期間中に正常な使用状態で万一故障した場合、無償で修理または交換することを保証いたします。

保証期間中でも次の場合は有償となります。

- (1)住宅や特定施設水道連結型スプリンクラー設備などの用途以外で使用した場合
- (2)井戸水、温泉水など上水道以外の水を使用した場合
- (3)ガイドブックによる正常な施工を行わなかった場合
- (4)ガイドブックによる正常な使用方法以外の使用を行った場合
- (5)不当な修理、調整、改造を行った場合
- (6)水害、地震、落雷などの天災による損傷
- (7)凍結による損傷
- (8)建築躯体の変形など機器以外の不具合に起因する場合
- (9)ねずみなどの生物の行為に起因する場合
- (10)その他当社の責任によらない損傷の場合
- (11)保証書の字句を書き換えた場合

名 称	MHSJ009-72-CP型コンシールドヘッド	数 量	
保証期間 (1年間)	年 月 日 より 年 月 日 まで		
納入先	ご住所	〒	
	ご芳名	様	
工 事 店	住所・店名 電話番号		
販 売 店	住所・店名 電話番号		

* 本保証書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

* 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

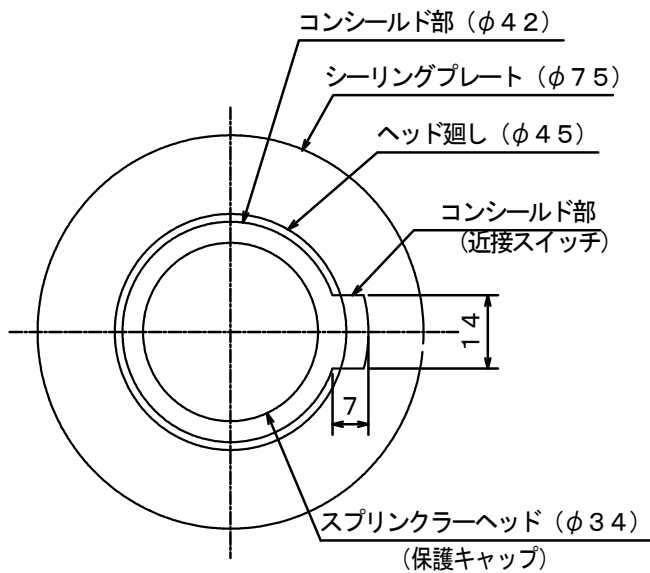
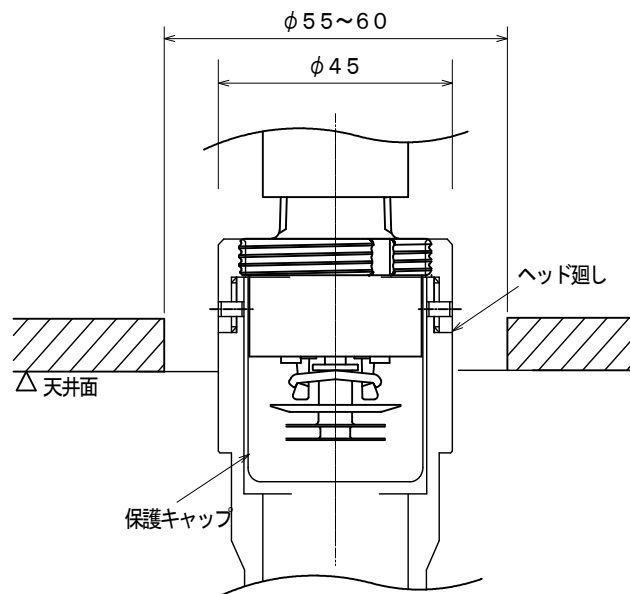
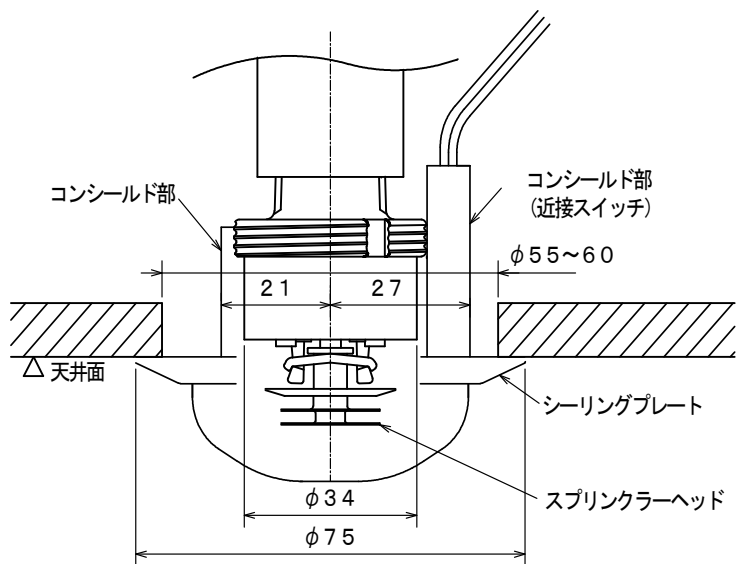
* 本保証書により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

* 保証期間、工事店、販売店の住所、店名、電話番号など記入のないものは無効です。

能美防災株式会社

本社：〒102-8277 東京都千代田区九段南4丁目7番3号 消火設備本部 (03)3265-0283

コンシールドヘッド周りの各寸法



支社・営業所連絡先一覧

能美防災株式会社

本社 〒102-8277 東京都千代田区九段南4丁目7番3号

TEL:(03)3265-0211

エンジニアリング本部	〒163-0455	東京都新宿区西新宿2丁目1番1号(新宿三井ビルディング55階)	(03)3343-1815
CS設備本部	〒104-0028	東京都中央区八重洲2丁目2番1号東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー8階	(03)6281-6831
支社			
北海道支社	〒001-0013	札幌市北区北13条西1丁目2番21号	(011)746-6911
東北支社	〒980-0014	仙台市青葉区本町1丁目2番20号(KDX仙台ビル8階)	(022)221-2695
新潟支社	〒950-0088	新潟市中央区万代3丁目6番8号	(025)243-8121
丸の内支社	〒100-0006	東京都千代田区有楽町1丁目7番1号(有楽町電気ビル南館13階)	(03)3213-1781
茨城支社	〒310-0845	水戸市吉沢町307番1号	(029)239-5280
千葉支社	〒260-0821	千葉市中央区若草1丁目2番12号	(043)266-0303
北関東支社	〒331-0802	さいたま市北区本郷町272	(048)669-2255
西関東支社	〒192-0082	八王子市東町2丁目12番(京王八王子東町ビル3階)	(042)643-1520
横浜支社	〒220-6209	横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号(クィーンズタワーC9階)	(045)682-4700
長野支社	〒380-0034	長野県長野市大字高田1353-3	(026)227-5521
静岡支社	〒420-0813	静岡県静岡市葵区長沼二丁目16番10号	(054)340-0013
中部支社	〒450-0003	名古屋市中村区名駅南一丁目24番30号(名古屋三井ビル本館3階)	(052)589-3241
北陸支社	〒920-0806	金沢市神宮寺2丁目10番5号	(076)252-6211
関西支社	〒564-0052	吹田市市広芝町7番13号	(06)6330-8661
京都支社	〒601-8468	京都市南区唐橋西平垣町7番地2	(075)694-1192
中国支社	〒732-0044	広島市東区矢賀新町4丁目5番26号	(082)510-1125
岡山支社	〒700-0973	岡山市北区下中野328番113号	(086)244-4222
九州支社	〒810-0022	福岡県福岡市中央区薬院二丁目5番7号	(092)712-1560
営業所			
旭川営業所	〒070-0039	旭川市9条通13丁目24番地270	(0166)25-5600
青森営業所	〒030-0113	青森市第二問屋町1丁目7番2号	(017)729-0532
盛岡営業所	〒020-0133	盛岡市青山2丁目20番5号	(019)645-0552
秋田営業所	〒011-0901	秋田市寺内字イサノ98番1号	(018)862-5086
郡山営業所	〒963-8843	郡山市字川向128番地	(024)947-1194
福島営業所	〒960-8071	福島市東中央3丁目45番1号	(024)528-4195
羽田営業所	〒144-0041	東京都大田区羽田空港3丁目3番2号私書箱3号(第1旅客ターミナルビル1階)	(03)5757-9393
渋谷営業所	〒150-0036	東京都渋谷区南平台町2番17号(日交渋谷南平台ビル2階)	(03)3461-1051
新宿営業所	〒163-1010	東京都新宿区西新宿三丁目7番1号新宿パークタワー10階	(03)5590-5770
城東営業所	〒130-0012	東京都墨田区太平2丁目8番11号斉征錦糸町ビル8階	(03)3626-2461
五反田営業所	〒141-0031	東京都品川区西五反田1丁目29番1号(コイズミビル3F)	(03)3779-9737
埼玉西営業所	〒350-1123	埼玉県川越市脇田本町22-16セレモニー川越ビル2階	(049)247-4640
土浦営業所	〒300-0037	土浦市桜町4丁目3番18号(土浦ブリックビル2階)	(029)822-3851
宇都宮営業所	〒321-0945	宇都宮市宿郷2丁目7番16号(メゾン千秀1階)	(028)637-4317
群馬営業所	〒370-0046	高崎市江木町1716番地	(027)328-1567
沼津営業所	〒410-0311	沼津市原町二丁目3-20	(055)955-5227
浜松営業所	〒430-0901	浜松市中区曳馬6丁目23番16号(モリショウ第1ビル301号)	(053)473-3422
三重営業所	〒514-0007	津市大谷町181番地(津駅西ビル)	(059)226-9860
富山営業所	〒930-0845	富山市綾田町1丁目7番76号	(076)444-1450
福井営業所	〒910-0021	福井市乾徳3丁目8番25号	(0776)21-0056
岐阜営業所	〒500-8381	岐阜県岐阜市市橋4丁目6番7号	(058)201-3771
神戸営業所	〒650-0021	兵庫県神戸市中央区三宮町2-5-1三宮ハートビル8階	(078)334-3581
四国営業所	〒761-8075	高松市多肥下町1516番地1	(087)868-6811
北九州営業所	〒803-0836	北九州市小倉北区中井2丁目2番4号	(093)583-3344
長崎営業所	〒852-8114	長崎市橋口町12番12号(プロミネンス安武1階)	(095)845-0135
大分営業所	〒870-0822	大分市大道町1丁目6番5号	(097)543-2778
熊本営業所	〒862-0910	熊本市東区健軍本町4-10	(096)360-1051
宮崎営業所	〒880-0841	宮崎市吉村町北原甲1439番6	(0985)28-8792
鹿児島営業所	〒890-0046	鹿児島市西田2丁目7番6号(スカイビル)	(099)253-8196
沖縄営業所	〒900-0003	那覇市安謝1丁目23番8号(株オカノ内)	(098)862-4297

